

II 実践 ゴム解析用の材料定義の基本からエネルギー密度関数、解析展開

ゴムは解析が難しいといわれる所以（資料）から解析のルール、必須の方法をご説明

1. ゴムを知る事、ゴムとは
2. ゴムのFEM解析の基本
 - 1) ゴム製品の製造工程を知ると解析はうまくいく/金属の残留応力との関係
 - 2) ゴムの解析方法の基本
 - 3) 解析用材料データ定義 ネオフックからMooney、Ogden、他
二軸伸張試験からひずみエネルギー密度関数の定義方法、失敗しない方法
※ご自身で修得して公共機関での測定から回帰をサポートします。
3. 解析の注意点/誤差をどのように考えるか(予測精度向上の魔法)
 - 1) 材料定義と解析精度 高次定義ではMooney,Ogden、アルダボイス、どれも同じです
 - 2) 要素分割とモデリング
 - 3) その他の陥りやすい問題点について
4. 粘弾性解析の展開(10～20分)
 - 1) 固有値解析への展開/粘弾性解析では固有値解析に効果がない
 - 2) シール面圧低下の簡易的な予測方法

随時 & 最後に質疑